

広報

えびの

8 2013
August
vol.562

ずっと住み続けたい
にしろるを、未来に

今月の掲載記事

「人権ミニフェスタ in いいの」講演

CIVIC NEWS

まちのわだい

えびの気質「野村ひとみ さん」

うまかもん「ナスのゴマ和え」



ずっと住み続けたい にしもろを、未来に

市町村の垣根を越えて、住みやすいエリアを目指す構想が「定住自立圏構想」です。

えびの市、小林市、高原町は、平成24年10月、定住自立圏形成協定を締結。今年7月には、具体的な取り組みを盛り込んだ「にしもろ定住自立圏共生ビジョン」を公表しました。

◆人口減少と進む高齢化

私たちが暮らす西諸圏域の人口は、1985年の9万4千人をピークに減り始め、推計では、2030年には約6万2千人になると見込まれています（表1を参照）。

圏域の高齢化率（全体に占める65歳以上の割合）は、1980年は12・9パーセントでしたが、2010年には31・8パーセントと、急速に高齢化が進んでいます。今後も上昇し続け、2030年には42・8パーセント（約2人に1人が65歳以上）となる見込み

です（表2を参照）。

◆定住自立圏構想で活性化を

こういった人口減少や超高齢社会の中では、各市町が単独で、住民に必要な機能を整備しながら、さまざまな課題を解決していくことが難しくなっています。

そこで2市1町は、役割を分担しながら連携し、定住人口を確保する「定住自立圏構想」を検討。平成24年4月、2市1町からなる協議会を設置し、協議を重ねてきました。そして平成24年10月、定住自立圏の形成協定を締結。それぞれの地域が持つ強みを生かし、弱みを補完し合いながら、圏域全体を活性化させる「にしもろ定住自立圏」が誕生しました。

◆2市1町、各分野で連携

協定を調印後、具体的な取り組みの計画となる共生ビジョンを策定するた

め、圏域の住民や産業、福祉、医療の

関係者など30人で構成する懇談会を設置。懇談会での意見を踏まえ、今年7月、共生ビジョンが公表されました。

この共生ビジョンには、2市1町が連携して取り組む53の事業がまとめられています。取り組み期間は、平成25年度から平成29年度までの5年間で、連携する分野は、保健・医療や産業振興などさまざまです。毎年検証を行い、現在連携をしていないものでも、必要なものは新たに追加していくなど見直しを行っています。

2市1町では、「魅力ある住みよいまちにしもろ」を将来像に、ずっと快適で安心して暮らしていける西諸を目指してまいります。

☎ 両市企画課政策係
35-1111（内線321）

連携して取り組む事業

●広域的資機材・備蓄等整備事業



有事に備え、西諸広域災害拠点施設へ、資機材、備蓄品などを整備する。

●農家民泊、グリーン・ツーリズム推進事業



農家民泊を柱とした体験型観光の推進や修学旅行の誘致について検討を行う。

●自殺予防対策事業



こころの相談窓口の相互利用を促進し、相談体制の充実、情報の共有化を図る。

●スポーツ大会・合宿等誘致推進事業



広域的に受け入れるメリットを生かしたスポーツ・合宿誘致活動を推進する。

●廃プラスチック処理事業



プラスチック製容器包装の中間処理を共同で行う。

●吉都線開業100周年記念事業



各種記念イベント等の継続的な実施と観光列車誘致に取り組む。

インタビュー

にしもろ定住自立圏に暮らしている人に期待することを聴きました

テーマ「移住・定住」

西諸の自然の恵みを、ずっと将来に



農家民泊で会った西諸の人と自然に惹かれ、移住しました。現在は、短期滞在の受け入れや、移住情報の提供などを行うセンターを運営しています。西諸の強みは、きれいな水や美味しい農産物、ホタルが飛び交う豊かな原風景など。この自然の恵みを将来に残すため、足並みのそろった取り組みを期待します。

北きりしま移住支援センター
中里 みき さん（小林市）

テーマ「観光」

共通した観光資源で滞在型ツアーも



えびのガイドクラブでは、市内名所を巡るバスツアーやウォークラリーなどのガイドを行っています。西諸は、霧島の恵みを受けた湧水や温泉、歴史・文化など、共通した観光資源を持つ地域。互いに連携することで、土地の魅力をより深く堪能してもらう滞在型ツアーの企画が組めるなど、可能性が広がります。

えびのガイドクラブ会長
南鶴 吉照 さん（えびの市）

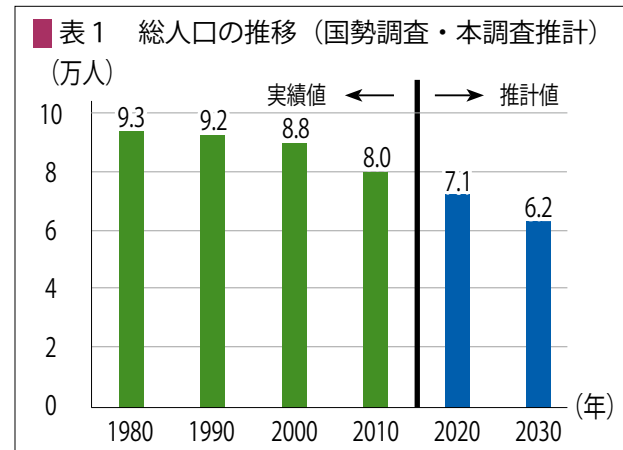
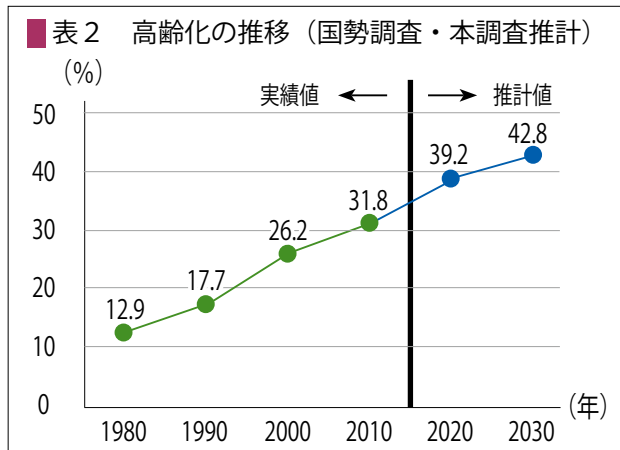
テーマ「防災」

各市町の隣接する地区で、助け合いを



新燃岳が噴火した際に、避難を余儀なくされました。避難所でのバックアップなどの他にも、生活に関わる灰の処理の手伝いや、家畜の避難場所を提供してもらうなど、町だけではできない、さまざまな援助があったことも感謝しています。各市町の隣接する地区で、消防活動など助け合いもできればいいですね。

北狭野区区長
蒲生地 吉正 さん（高原町）



魅力ある住みよいまち にしもろを目標して

8月6日、えびの市文化センターで定住自立圏共生ビジョン連携事業「まちづくり講演会」が行われました。講演会には、西諸の2市1町から市民など約500人が参加しました。



講演会の講師には、早稲田大学政治経済学術院教授の北川正恭さんが招かれました。北川さんは、「持続可能なまちづくりを」の演題で講演をされました。その内容を抜粋して紹介します。

◆ 変わらないと取り残されます

私は、早稲田大学の教授をしています。今は、学生が教授を評価する時代。それだけ時代は変わりました。世の中は、変化をしています。変わらないのが地方自治体。住民はもつと変わります。そのあたりを真剣に考えて行かないといけない時期にきています。

◆ 協力できるところは協力を

西諸の定住自立圏構想で人口減少の指数が出ていますが、人口は確実に減ります。人口が減るといことはどういふことか。年金をもらう高齢者を少ない若者が支えるという形です。このことを本当に考えていかないと西諸に代表される日本の地域社会は立ちいかなくなり。自分たちの立ち位置を変えなければなりません。役所はもちろんです。住民も立ち位置を変えない限りは、地域は没落していきます。そうならないために、最も重要なことは、人口が減らない事です。高齢者

◆ 地域から国を変えましょう

西諸では、高校生の修学旅行の受け入れを2市1町でやっています。これは、住民が主体となって行っている。市民の意識が変わり始めてきている一例です。このように市民の意識が変わっていかないといいけません。今回、この定住自立圏共生ビジョンの策定がやっとスタートだと私は思います。

あなたの子どもたちや孫に残すものは、私たちが自立して、子どもたちへの負担を減らすということです。行政も市民の意見の確に答えていくこと、これが協働です。そういう関係で、市民と行政とが連携していけば、アイデアはなんぼでも出てきます。

これを機会に皆さんも連携して、「宮崎は西諸から変わった」といわれるように頑張ってください。国が地域を変えるのではなく、地域が国を変えていかなければなりません。それができた時、西諸の人口は増え始めます。30年先を見据えた住みよいまちづくりを指してがんばってください。



8月4日、飯野地区コミュニティセンターで「人権ミニフェスタinいいの」が行われました。フェスタには、市民ら約80人が参加しました。

フェスタでは、元フリーアナウンサーの道志真弓さんが講演を行いました。道志さんは、「生きている幸せを感じて〜奇跡の命と共に生きた8年8か月〜」の演題で講演しました。その内容を抜粋して紹介します。

■ 大事にしたい産まれた命

私は、5年間不妊治療を行っても子どもに恵まれず、諦めかけていた時、

待望の赤ちゃん「弓華」を授かりました。

陣痛が5日間という難産の中やっと産まれてきた弓華。世界に37例しかない染色体異常「14トリソミー」という病気で、心臓に穴が開き、腎臓も悪い状態でした。

私は、「やっとできた赤ちゃんなのに…」と涙が止まりませんでした。そんな私に夫は、「産まれてきてくれてよかったよ」と声をかけてくれました。夫の言葉を聞いた私は、産まれてきた命は絶対大事にしようと思えて歩けるようになりました。

「人権ミニフェスタinいいの」講演

生きている 幸せを感じて

■ 4歳で余命1か月の宣告

2歳の時、9時間半もの大きな心臓の手術をし、一命を取り留めましたが4歳になり、次は腎臓が悪くなり余命1か月の宣告。いろいろな治療をしましたが治らず、家に帰りたいと伝えて退院しました。自宅に戻り3日後、ずっと笑わなかった弓華が笑いました。

弓華は、5歳になり、6歳になり、余命1か月と言われたのに命の更新をしていきました。

■ 弓華が私にくれた青春時代

8歳の冬、腎臓の悪化から体がむくんできました。「弓華ちゃんは最後、体がむくんで、尿毒症になって亡くなる」と先生に聞かされていました。

いつも通り、家事をして、5分ぐらい目を離した時、弓華の呼吸がおかしななっていました。抱きかかえて「弓ちゃん息しーや。息しなあかんで」と声をかけ、1〜2分後、私の腕の中で天国へ旅立ちました。抱きかかえられるのを待っていたのかのように…。

弓華が0歳の時からの私の願いは、亡くなる時は、私の腕の中で亡くなっ

てほしいということでした。それを最期に弓華はかなえてくれました。

弓華が私にプレゼントしてくれたものは、それは青春時代。17〜18歳のものでなく、私の青春時代は、弓華と過ごした8年8か月でした。一番泣いたり笑ったり忙しくて楽しくて充実していました。この青春時代をプレゼントしてくれた弓華に、私はとても感謝しています。

■ 生きている幸せをかみしめて

私は、弓華と過ごした時がとても楽しかった。だから皆さんにこの話ができます。皆さんは、「自分や周りの人が今生きている」、「元氣である」そのあたりがたみと幸せをかみしめてもらいたいと思います。たぶん、弓華はそのことを伝えるための使命を持ってこの世に産まれてきたのだと思います。使命という字は命を使うと書きます。私は、皆さんにそのことを伝えることがこれからの使命です。

9月22日は、市長選挙と市議会議員選挙の投票日です えびの市の未来を決める一票です

9月22日(日)は、えびの市長選挙とえびの市議会議員選挙の投票日です。えびの市で、市長選挙と市議会議員選挙が同時に行われるのは今回が、初めてです。

今後4年間のえびの市政を託す大変重要な選挙です。一票を投じることが、えびの市の未来を決めることとなります。一票を投じて、あなたの意見をえびの市政に生かしましょう。

【投票日】
9月22日(日)

【場所】
入場券で指定された投票所

【投票日の投票時間】
午前7時～午後6時

※投票所入場券(ハガキ式)は、1人につき1枚届きます。投票日には投票所入場券を持参してください。

※投票日当日、仕事、冠婚葬祭、レジャー等で投票できない人は、期日前投票ができます。期日前投票をする場合も

投票所入場券を持参してください。

【期日前投票】
□期日前投票
【期日前投票期間】
9月16日(月)～9月21日(土)

【時間】
午前8時30分～午後8時
※祝日、土曜日も期日前投票ができます。

【場所】
市役所本庁1階(1・1会議室)



※選挙期間中に転出予定の人は、転出届を出す前に投票ができる場合があります。詳しくは、市選挙管理委員会事務局まで問い合わせください。

【開票】
開票管理委員会事務局
☎35・1111
(内線421・422)

西部地区でコミュニティバス実証実験 10月から運行開始

市では、10月から来年9月までの1年間、えびの市の西部地域の4路線(西部線、東川北線、昌明寺線、西内縦線)でコミュニティバスの実証実験運行を行います。

実証実験運行では、利用者の意見などをもとに、運賃、ルート、運行回数、運行時間、バス停の位置などを検証します。

今後、市では、西部地域での実証実験の結果と平成24年度に実施した東部地域での実

証実験の結果を踏まえ、どのような公共交通体系がえびの市に適しているのかを検討します。

※平成25年10月に予定していた東部地域のコミュニティバスの本格運行は、行わないことになりました。

※停留所や時刻表などの詳細は、広報えびの9月号でお知らせします。

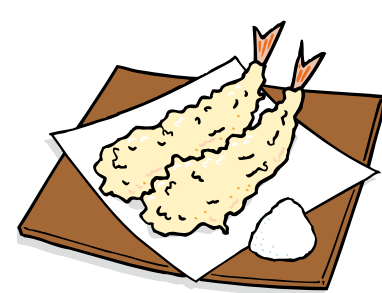
☎市企画課政策係
35・1111(内線322)

ペットボトル等を出してください てんぷら油を回収します

市美化センターでは、BDF(バイオディーゼル燃料)の原料となる、てんぷら油の回収を9月から始めます。てんぷら油の回収は、ごみの減量化の推進とリサイクルを目的として実施するものです。

現在、てんぷら油は「固める」、「紙に吸わせる」などして、燃やせるごみとして分別をお願いします。

これまで通り、燃やせるごみとして出しても構いません



が、皆様のご協力をお願いします。

☎えびの市美化センター
33・5782

■運行内容

【西部線】	えびの駅～市老人福祉センター
運行期間	10月～平成26年9月
運行日	月～金(祝日、年末年始は運休)
運行便数	1日6便
運賃	200円(高校生以下は、100円)

【郊外線】	
【東川北線】	東川北～山内～えびの駅
運行期間	10月～平成26年9月
運行日	毎週火曜日(祝日、平成25年12月31日は、運休)
運行便数	1日4便
運賃	200円(高校生以下は、100円)

【昌明寺線】	昌明寺～岡松～京町～亀沢
運行期間	10月～平成26年9月
運行日	毎週水曜日(祝日は運休)
運行便数	1日4便
運賃	200円(高校生以下は、100円)

【西内縦線】	西内縦～岡松～京町
運行期間	10月～平成26年9月
運行日	毎週木曜日(祝日、平成26年1月2日は運休)
運行便数	1日4便
運賃	200円(高校生以下は、100円)

○回収場所	資源ステーション
-------	----------

○排出方法	ペットボトルに入れて、必ずふたを閉めて出してください。 ※ペットボトル以外でも、透明でふたが閉まる容器であれば結構です。 資源物を出す曜日に、資源ステーションに設置してある水色のコンテナ箱に入れてください。
-------	---

○回収する油の種類	植物性油(菜種油・オリーブオイル等) ※動物性油(ラード・バター等)は対象外
-----------	---

○リサイクル方法	回収したてんぷら油は、有償で処理業者に売り渡し、BDFを精製し、リサイクルされます。
----------	--

BDFとは…Bio diesel fuel(バイオディーゼル燃料)の略称で、軽油と同等の燃費と走行性を持つ、環境にやさしい燃料のことです。軽油と比べ、黒煙の排出量が1/3以下に抑えられます。



元全日本代表が子どもたちに指導
バレーボールの技術を学ぶ

7月28日、真幸地区体育館で宮崎県バレーボール協会主催のバレーボール教室が行われました。西諸地区の小中学校の29チーム、301人が参加しました。

教室には、元全日本代表の江藤直美さん、多治見麻子さんが招かれました。参加者は、準備運動の方法やスパイク、サーブの打ち方などを学びました。

ある参加者は、「二人ともとても背が高くてビックリしました」と話していました。



京都でえびの米などを配布
修学旅行でえびのをPR

7月11日、飯野中学校2年生（60人）が修学旅行先の京都でえびの市のPR活動を行いました。

生徒たちは、街頭で行きかう人に声をかけながら、特産品であるえびの米などを配りました。これは、えびの学体験活動の一環で行われたもので、コミュニケーション能力の育成を図ることを目的としています。

参加した生徒は、「一人の優しさに触れることができました」と話していました。

7月20日、京町川内川河川敷で「えびの市京町温泉夏祭り花火大会」が行われました。京町温泉花火大会実行委員会の主催で行われたものです。花火大会には、市内外から約1万2000人が訪れました。

えびの市京町温泉夏祭り花火大会 夜空を彩る花火5千発



会場には多くの露店が並び、特設ステージ上では、マジックショーやカラオケショーなどが行われました。花火打ち上げでは、観客がカウントダウン。約5000発の花火がえびのの夜空を彩りました。

7月28日、西川北菅原神社で牛越祭が行われました。祭りには、市内外から約400人が来場。牛が丸太を越える度、歓声があきこびていました。

牛越祭は、400年以上の歴史があります。牛が丸太を飛び越えることで、家畜の無病息災と豊作を祈ります。今年も、西川地区の18頭が丸太越えに挑戦しました。



西川北菅原神社で牛越祭

牛のジャンプに歓声

牛越祭保存会の上田隆道会長は「牛の生産者が少なくなる中、この伝統を守り続けていきたい」と話していました。



水生生物調査や川遊びなどを体験
えびのの自然を満喫

7月24、25日、大河平地区の内山川などで「川内川体験キャンプ」が行われました。これは、南九州ココロラボ トリング（株）が、市などとの共催で毎年行っているものです。

市内外から参加した小学生20人は、水生生物調査、川遊びや沢登りなどを体験しました。

内山川の水生性生物調査で参加者は、知らない虫を見つけては、「この虫はなんですか」と講師に尋ねていました。



エコミュージアムセンターがリニューアル
霧島山の情報が満載

7月20日、えびの高原のえびのエコミュージアムセンターがリニューアルオープンしました。新燃岳の噴火などえびの高原の環境は近年変化しています。今回のリニューアルは、変化に対応し、自然環境をよりわかりやすく伝えるために行われたものです。

センターには、霧島山の独自性や成り立ちを紹介するコーナーのほか、登山者の質問などに答える受け付けカウンターなどが新設されました。

目指すは長山洋子さん

「ありがとう、歌を聞きに来てよかった、とお客さんに感動を与えられる演歌歌手になりたいです」と話すのは野村ひとみさん（西川北）です。

野村さんは、現在、調理関係の仕事の傍ら演歌歌手を目指しています。7月20日の「京町温泉花火大会」でその歌声を披露しました。宮崎県内で行われるイベントなどでも歌声を披露しています。

野村さんの目標とする歌手は、演歌歌手の長山洋子さんです。「歌い方や歌っているときのしぐさなどすごく勉強になります」

昨年行われたキングレコード歌謡選手権南九州大会では2位でした。それでも、「歌手への道は険しい」と野村さん「2位では意味がありません。もっと歌唱力を磨き、全国で優勝できるぐらいにならないと」と話します。

身近な存在だった演歌

野村さんが歌手を目指すきっかけは、身近に流れていた演歌の影響です。「幼い時から家や車の中ではいつも演歌が流れていました。聞いているうちに、自然と演歌を口ずさむようになりました。小中高の時の将来の夢は、もちろん、演歌歌手。卒業文集にも、そう書きました」



演歌が好きでたまらない野村さん。「小中学生のころは、演歌しか知らなくて、友だちがアイドルの話をしている時、話についていくことができませんでした」

目標は、25歳までのデビュー

現在、野村さんは22歳。幼少時代は、母親が演歌の先生でした。「母に私の歌を聞いてもらい、ここはこうしたら、ここはダメなど指導を受けていました」

感動を与える歌手を目指して

本格的にプロのレッスンを受け始めたのは21歳の時です。「どうしても演歌歌手になりたいくて、美容師の学校をやめて帰郷しました」レッスンは、学ぶことが多いという野村さん。「時には、怒られたりもしますが辛くはありません。一つ一つが勉強だと思い、レッスンを受けています」

「演歌は、ただ上手なだけではダメです。歌詞に合わせ、表情やこぶしをつけ、メリハリを付けることが大切です。私は、表情を付けるのが苦手で、ある大会では先生に『表情が硬い』と怒られたことがあります。私なりに真剣に歌っていたのですが…。演歌は奥深いです」

野村さんは、25歳までには演歌歌手としてデビューしたいという熱い気持ちを持っています。「デビューできてもあくまで、そこがスタート地点だと思っています」

野村さんの次のステージは、8月31日に、国際交流センターで行われる焼肉スタジアムです。「演歌を披露できるかどうかかわかりませんが、皆さんもぜひ私の歌を聴いてください」



Profile
野村ひとみ／西川北／
笑顔がキュートな22歳
／趣味：カラオケ（週2～3回、練習を兼ねて友だちと行きます）、お酒（焼酎が好きです）

えびの気質

未来の演歌歌手

野村ひとみさん





うまかまん

今月紹介するのは、道の駅えびのの料理スタッフで作った「ナスのゴマ和え」です。

ナスは油で揚げると、香ばしくなり、美味しくなります。そんな揚げナスをしようゆベースのゴマダレと和えるとご飯もお酒もすすむ一品になります。

お好みでゴマダレの中に、唐辛子などを加えれば、一味違ったナスのゴマ和えになります。

料理のポイント、ナスはを切ったらすぐに揚げることです。ナスは切ると変色しやすく、見た目が悪くなります。ゴマは、すりゴマを使うのを勧めます。すりゴマを使うことでより一層、ゴマの風味を楽しむことができます。



しょうゆベースのゴマダレでご飯もお酒もすすむ一品

今月の一品 ナスのゴマ和え

Recipe レシピ

【材料】2人分

ナス 2～3本、ニンジン 適宜
 <和え衣> すりゴマ 大さじ1.5、砂糖 小さじ1、しょうゆ 小さじ1
 <揚げ油> 適量

【作り方】

- ① ナスはヘタを切り落とし、ひとくち大の乱切りにする。ニンジンは、縦に千切りにする。
- ② ボウルで<和え衣>の材料を混ぜ合わせる。
- ③ 170℃の揚げ油にナスを入れ、少ししんなりするまで素揚げにし、しっかり油をきる。
- ④ ニンジンをさっとゆでる。
- ⑤ ②にナスとニンジンを加えて和え、器に盛る。



【紹介者】道の駅えびのの料理スタッフの皆さん

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。



環霧情報



環霧島 探訪

かん さりしま たんぼう

【道の駅山ノ口】
 今月は都城市の「道の駅都城」「道の駅山ノ口」と霧島市の「道の駅霧島」を紹介します。

【道の駅都城】
 道の駅都城は、国道10号沿い、都城インターから市内に向かつて2km付近にあります。駅内のレストランでは、地場農畜産品を生かしたオリジナル料理が味わえます。また、「技の見学館」では都城大弓など都城圏域の地場特産品が展示され、写真パネル等を用いて詳しく紹介されています。

道の駅山ノ口は、国道26



道の駅都城（上）、道の駅山ノ口（下）

【道の駅霧島】
 9号沿い、宮崎市と都城市を結ぶ青井岳溪谷ラインの中間点にあります。駅内の物産館では、新鮮なしぼりたての牛乳で作られた甘乳蘇（かんじゆそ）ソフトクリームや朝採れ生シイタケ、乾シイタケなどの地場特産品を販売しています。

【道の駅霧島】
 道の駅霧島は、霧島神宮と霧島温泉郷の間の山腹にあります。晴れた日には遠く開聞岳を望める絶景ポイントです。駅に隣接する「神話の里公園」には、天孫降臨の神話をビデオで紹介する神話館や全長390mのスーパースライダーなどの遊具施設、レストラン、物産館があります。



道の駅霧島

EVENTS OF KANKIRISHIMA

高原町



たかはるよりどり交流市

- 日時=9月15日（日）午前8時～午前11時30分
 - 場所=高原町中央商店街
 - 内容=商店街に30台～40台の軽トラが並びます。月によって内容が変わる無料のふるまいや体験コーナーなどが行われます。
- ☎ たかはるよりどり交流市運営協議会 ☎42-1839

湧水町



第19回名水池感謝の夕べ

- 日時=9月7日（土）午後6時～
 - 場所=丸池湧水（栗野駅裏）
 - 内容=池の水面や周辺に竹灯籠が設置されます。竹灯籠の灯と湧水が織りなす幽玄なる世界を楽しめます。ステージでは、バイオリン演奏などが行われます。
- ☎ 霧島山麓湧水町観光協会 ☎0995-74-5690

送りつけ商法にご注意!!



注文した覚えのない商品が自宅に届き、代金を請求されたという相談が多く寄せられています。注文していない商品を、勝手に送り付け、その人が断らなければ買ったものとみなして、代金を一方的に請求する商法です。

送りつけられる商品はカニや健康食品、書籍や雑誌の場合もあります。

【こんなときは】

- 電話で、きっぱりと断る。
- 商品を送り返す。
- 商品の受け取りを拒否する。
- 一人で悩まず、すぐに相談する。

7月の交通事故発生状況	人身	6件	本年7月末	64件
	物件	39件	本年7月末	176件

災害時は早めの避難を!!



災害時は、身を守るために、早めに安全な場所に避難することが大切です。日ごろから「自分たちの命はまず自分たちで守る」という心構えを持ちましょう。災害に遭っても常に落ち着いて行動できるように考えておきましょう。

- 避難勧告があった場合は、速やかにその指示に従いましょう。
- ラジオ、テレビ、携帯電話などの災害情報をよく聞き、慌てずに落ち着いて行動しましょう。
- 最低3日分の飲食物を準備しておきましょう。
- 水=1人あたり2ℓを3日分
- 食糧=乾パンや缶詰など火や水を使わないもの

7月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	11件
	救急	83件	年計	506件

まちづくり活動

ぶらいど21基金助成団体の活動紹介



CAP子どもワークショップ

「子どもの笑顔」を求めて

えびのちやいむ

えびのちやいむは、全ての子どもが「生まれてきてよかった」と心から感じられる「子ども時代」を過ごすことができるように、暴力のない地域を目指す団体です。平成22年に7人で結成しました。えびのちやいむでは、次のような活動を行っています。

【CAP活動】

CAP(子どもへの暴力防止)は、子どもたちが、いじめや虐待といったさまざまな暴力から自分

を守るための教育プログラムです。えびのちやいむでは、このプログラムを用いて、子どもたちに「自分は大切」、「いじめは許されないこと」といった共通認識を持つてもらったためのワークショップなどを行っています。

【虐待予防活動】

子どもを守る地域ネットワーク育成事業の一環として、えびの市内外で虐待予防に関するミニ講座を開催しています。



えびのちやいむ 代表 貴嶋より子さん

えびのちやいむは、子どもの笑顔を求めて今後も活動していきます。子どもへの暴力防止のためのワークショップや虐待予防講座を希望する人は、ご連絡ください。
☎えびのちやいむ
090-5477-6848

男女共同参画



メディアの情報と上手に付き合おう

私たちが日常的に何気なく取り入れてしまいがちなメディアからの情報。たとえニュースであってもその内容は構成・演出・編集されたもので、「事実そのもの」ではないことがあります。私たちは、新聞・テレビ・ラジオなどのメディアの伝える情報をうのみにせず、視聴者・読者自身が評価し、取捨選択するなどして、情報を活用する能力(メディア・リテラシー)を身につけておきたい

いものです。メディアから流れる情報の中には「女はこうあるもの」、「男はこうあるべき」といった、固定的な性別役割を肯定する価値観が少なからず埋め込まれています。こうしたことから市では、市内中学生を対象に「メディア・リテラシー講座」を実施しています。講座では、アニメを観て、男女の服装や表情の違いを読み解くとともに、アニメに描かれる暴力

シーンを通じて、どんな暴力も許されるものでなく、自分も相手も大切にする考えを改めて考えてもらう機会としています。最近では、男女共同参画が少しずつ広まり、男女の表現が変化してきている部分がありますが、まだまだ気になる表現が多いのも現実です。メディア・リテラシーを身につけ、メディアが発信する情報と上手に付き合っていきたいです。

文：市民協働課 市民協働係

いきいき!健康



たばこの煙から子どもを守りましょ

タバコの煙にはタバコを吸う人が吸い込む「主流煙」とタバコの先から立ち上がる「副流煙」があります。副流煙には主流煙の何倍もの有害物質が含まれています。喫煙者の周りは嫌でもこの煙を吸ってしまうことになり、これを「受動喫煙」といいます。受動喫煙の最大の被害者は赤ちゃんや幼児です。妊娠中の女性への影響も深刻で、流産や早産、未熟児出生等の確率が高くなります。

タバコの煙に含まれているニコチンが体内で分解されてできる物質をコチニンといいます。コチニンが子どもの尿中にどのくらい排泄されたかを調べた結果があります。その結果では、両親ともタバコを吸わない家庭の子どもを1とした場合、屋外でのみ親が吸う場合は2倍、親が屋内で普通に吸う場合は15・1倍となっています。

「目の前でタバコを吸わなければ大丈夫」と思っています。屋外や換気扇の下で吸っても受動喫煙を防ぐことはできません。タバコの煙から子どもを守るためには、家族が禁煙するしかないのです。親が喫煙者であると、その子どもは将来喫煙者になりやすく、また、子どもは早く吸い始めるほどニコチン依存症になりやすいとのデータが出ています。子どもに最初の1本を吸わせないことも重要になってきます。

文：中尾保健師

あの時、あのころ

あの時のえびの市を広報で振り返る



800人の田の神さあ

7月27日、えびの駅前通りを会場に「第5回田の神さあおどり大会」が行われました。

今年の大会は、鹿児島県喜界島をはじめ、市内外から過去最高の30チーム、800人が参加しました。

色とりどりの服装や化粧をした800人の田の神さあは、次々と通りを練り歩きました。(平成3年8月号掲載)

川内川名物「イカダ下り」

7月20日、川内川でイカダ下りが行われました。大会には、工夫を凝らしたイカダ21艇が参加しました。参加者は、イカダの上から見る景色を楽しみながら、順位を競っていました。(平成3年8月号掲載)



テレビ夢列島で田の神おどりをPR

7月21日、南岡松の子どもたちなど約40人が24時間テレビ「テレビ夢列島」に出演。田の神さあおどりを全国にPRしました。(平成3年8月号掲載)



BOOKS

図書館へ行こう

おすすめの1冊

◎イベント

人形劇がやってくる

- とき=9月14日(土)
- 時間=10:30~11:30
- 会場=文化センター2階大研修室
- 内容=「草葉の妖精ピピン」「なんだこりゃたまご」
- 対象=0歳~大人まで(無料)



第33回ちょこっと講座「聞き書き講座」

- とき=9月29日(日)、13:30~14:30
- 場所=図書館学習室
- 対象=大人定員15人

◎9月のスケジュール

2	月	図書館休館日	
4	水	移動図書館車巡回①	14:10~15:35
7	土	おはなし会	10:30~11:30
9	月	図書館休館日	
11	水	移動図書館車巡回②	13:20~15:05
12	木	ブックスタート(1歳児に絵本配布)	
13	金	移動図書館車巡回③	13:20~15:35
14	土	人形劇(※おはなし会は休み)	10:30~11:30
17	火	図書館休館日	
18	水	移動図書館車巡回①	14:10~15:35
21	土	おはなし会	10:30~11:30
24	火	図書館休館日	
25	水	図書館休館日(館内整理日)	
		移動図書館車巡回②	13:20~15:05
26	木	ドリームカー(子育て支援センター)	10:30~12:00
27	金	喫茶「ふら〜っと」営業	9:45~11:00
		移動図書館車巡回③	13:20~15:35
28	土	おはなし会	10:30~11:30
29	日	ちょこっと講座「聞き書き講座」	13:30~14:30
30	月	図書館休館日	

※おはなし会:乳幼児10:30~11:00、4歳以上11:00~11:30

※移動図書館巡回

- ①飯野駅前地区体育館→飯野出張所
- ②岡元小学校→市立病院→さくら苑
- ③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日~土曜日/午前9時~午後7時 日曜日・祝日/午前9時~午後5時

■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)



キネマの神様

原田マハ/著
(株式会社文藝春秋)



ちょんまげのひみつ

今村正樹/発行者
(偕成社)

世の中は、小さな奇跡で溢れ、チャンスはどこにでも転がっています。気づくか気づかないかは自分次第。ギャンブルで借金を繰り返す父、課長に起用され、大企業を辞めた娘。映画好きなこの親子にキネマの神様は奇跡を用意していました。映画の好きな人、そうでない人にもグッとくる1冊。読み終えた後は、映画を見に行きたくなるはずです。

ちょんまげは、昔の男の人の髪型で、ひたいから頭のてっぺんまでをきれいにそり、残りの髪を結びあげた髪型のことです。戦国時代に戦でかぶとをかぶり、重いよろいを着ていると熱気がこもって頭がむれて不快だったため、頭のてっぺんをそるようになりました。誕生から大人になるまでのちょんまげ髪型の移り変わりなどを紹介した本です。

【最近買ったおすすめ本】

- 「親の計らい」 曾野綾子 著 扶桑社新書
- 「桜葉一樹短編集」 桜葉一樹 著 文藝春秋
- 「ひんやり氷の本」 前野紀一監修 池田書店
- 「虫の呼び名事典」 森上信夫 写真・文 世界文化社
- 「農家の将来」 矢口芳生 著 農林統計出版

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

梅雨明けて
雷鳴が 夏を
連れてきた
ジリジリと照りつける
太陽がものすごいパワーを全開し
暑さ そのものを一束絡げにして
今年もやってきた 熱い

白鳥 西幸一

詩

少国民老いて八月十五日
中島 川原伊津子
一九四五年昭和二十年八月十五日、戦争が終わりました。その日の正午の放送を聴くために隠居のラジオの前に人々が集まりました。お寺に駐留していた兵隊さんも何人か見えていました。その日の放送がどんな意味を持つものか、十歳の少女が理解するのは、ずっとずっと後になってからのことです。(自註)

俳句

庭一面あらくさの中ねじり花
小とき紅色でそと揺れている
中島 細山田小夜子
八月は暦の上では、立秋、処暑とあるが一年中で最も暑い時期であり、今年も、猛暑の日が続く。その中であつて小さなネジバナも懸命に今を盛りと揺れ咲くのを見て、自然界の偉大さに作者は感動と愛(し)しさを覚えるのである。繊細な詩情あふれる作品である。(評竹下妙子)

短歌

JR吉都線全線開通100周年記念 ウォーキング大会参加者募集

えびの市観光協会では、JR吉都線全線開通100周年を記念してウォーキング大会を開催します。

【開催日】9月23日(月)

【時間】[スタート受付]午前8時～午後0時10分

[ゴール受付]午後4時まで

【受付会場】JR吉都線えびの駅

【コース】えびの駅→木崎原古戦場跡→末永田の神さあ→金松法然→三徳院→明石酒造工場見学→道の駅えびの→南九州コカ・コーラ工場見学→えびの駅

【特典】先着順、数量限定

【参加費】無料

詳細などは、えびの市観光協会まで問い合わせください。

☎えびの市観光協会

☎35-3838

ご理解とご協力を 平成25年住宅・土地統計調査



10月1日現在で、「平成25年住宅・土地統計調査」が行われます。

この調査は、統計法(国の統計に関する基本的な法律)

に基づく重要な調査です。住宅・土地に関係するさまざまな施策の基礎資料を得るために、5年に1度実施されるものです。市民の皆さんのご協力をお願いします。

【対象】無作為に選ばれた約1500の住戸と世帯。

【調査内容】・室数や面積、設備などの住宅に関する事項

・世帯構成や収入、通勤時間などの世帯に関する事項

・住居以外に保有している土地に関する事項

【日程】9月上旬に、調査員が各調査区で住戸数の確認。

9月23日(月)以降に、調査員が調査票を配布。10月1日

(火)以降に、調査員が調査票を回収。

詳細は、市企画課政策係まで問い合わせください。

☎市企画課政策係

☎35-1111(内線322)

ミニテニス教室参加者募集

市社会教育課では、生涯スポーツ振興の一環として、ミニテニス教室を開催します。経験の有無は問いません。初心者や経験者で再度始めたい人など、ふるって参加ください。

【期間】10月1日～11月26日(毎週火曜日 全9回)

【時間】午後8時～9時30分

【場所】真幸地区体育館

【募集者数】20人程度

【対象】18歳以上

【指導者】えびの市ミニテニス協会指導部

【用具等】ラケットのない人は主催者側で準備します。運動のできる服装と体育館シューズは準備してください。

【参加費】2,000円(スポーツ保険料含む)

【申込方法】文化センター(社会教育課市民体育係)で直接申し込むか、電話またはFAXで申し込みください。

【申込期限】9月30日(月)まで

☎市社会教育課(市文化センター内)

☎35-2268 FAX35-2908

県際交流婚活事業 「未来予想図」参加者募集

人吉市、伊佐市、湧水町、えびの市で構成する県際交流推進会議では、ひとよし球磨青年会議所との共催で、婚活イベントを開催します。

【イベント名】「未来予想図」～田野de愛学園～

【日時】9月21日(土)午後1時30分～午後8時30分

【場所】人吉市立田野小学校(人吉市田野町3316-4)

【参加費】男性3,500円 女性3,000円

【募集人数】20歳～45歳の独身男女各50人(先着順)

【募集締切】9月14日(土)

【申込方法】各市町企画課窓口・道の駅等に置いてあるイベント告知チラシの裏面、各市町のホームページ、Facebook等でダウンロードできる申込書に必要事項を記入し、郵送・FAX・メールにて以下へ提出してください。

詳しくは、以下まで問い合わせください。

☎市・ひとよし球磨青年会議所(人吉市南泉田町3-3 人吉商工会議所内)

☎0966-22-6888 FAX 0966-24-9551

Eメール: info@hitoyoshi-jc.com

ホームページ: http://www.hitoyoshi-jc.com/

結核検診(飯野地区)を行います

今年度の結核検診(飯野地区)を実施します。

【対象者】65歳以上の全市民で、対象者には実施通知書を送付します。ただし①～④に該当する人で市役所に申し出をしている人には実施通知書は送付していません。

①職場で受診する人

②入院中や病気治療中または歩行困難で受診できない人

③最近3か月以内に病院等で胸部レントゲンを受診した人

④肺がん検診を受診した人や市の人間ドックに申し込みをしている人

※実施通知書が届いた人で①～④に該当する人は、市健康保険課市民健康係までご連絡ください。

期日	会場	時間
9月3日(火)	堀浦多目的集会所	9:20～10:10
	上大河平 鍋倉公民館	10:25～10:45
	大河平小学校	11:00～11:30
9月5日(木)	下大河平公民館	13:30～15:00
	旧川原教職員住宅	9:10～9:55
	東原田公民館	10:10～11:30
9月6日(金)	杉水流公民館	13:30～15:00
	飯野地区コミュニティセンター	9:10～10:50
	田ノ上運動場	11:00～11:30
9月10日(火)	上江地区体育館	13:20～13:40
	池島公民館	13:55～14:45
	今西公民館	15:00～15:30
9月13日(金)	前田公民館	9:30～10:30
	坂元公民館	10:40～11:20
	芋畑コミュニティセンター	13:30～14:00
9月18日(水)	高野畜産管理センター	14:30～14:50
	飯野駅前地区体育館	9:10～11:30
	南原田 大迫 宮原 畷 様宅	13:30～14:00
9月19日(木)	南原田 妙見 活性化センター	14:10～14:40
	山内公民館	9:30～10:15
	えびの福祉作業所	10:30～11:30
9月20日(金)	上上江公民館	13:20～14:10
	中上江公民館	14:20～15:00
	白鳥地区公民館	9:30～10:30
9月20日(金)	末永公民館	10:45～11:30
	田代公民館	13:20～14:00
	出水公民館	14:20～14:50
9月20日(金)	飯野地区コミュニティセンター	9:30～10:30
	南原田公民館	10:50～11:20
	飯野駅前地区体育館	13:20～14:50

☎市健康保険課市民健康係

☎35-1111(内線283)



◎今月の表紙

8月3日、国際交流センターで行われた「第16回太鼓フェスティバル」の表紙にえびの市が選ばれた。

◎今月の納税

市県民税 第2期、国民健康保険税 第1期
後期高齢者医療保険料 第2期
介護保険料 第3期

9月2日(月)までに納めましょう。

◎人口 20,405人(-42人)

男性/ 9,516人(-19人) 女性/ 10,889人(-23人)

転入/ 36人 転出/ 66人

出生/ 10人 死亡/ 22人

◎世帯数 8,975世帯(-10世帯)

(平成25年8月1日現在)

Editor's
人権ミニフェスタ いいのの取材に行ってきました。講演前、講師の道志さんと名刺交換。少し話をさせてもらいました。講演では、ノート片手に講演内容をメモ。途中、内容に思わず込み上げてくるのが何回もあり、メモを忘れ、聞き入ってしまいました。(川野)



写真: 甌岳 (平成21年9月1日)

「ススキ」

えびの高原は、一面にススキが広がり、移ろいゆく自然の姿に心ひかれる季節を迎えます

八月も半ばを過ぎると、えびの高原では秋の気配が感じられ、朝夕の気温は20℃を下回り、もう厳しい夏の暑さはありません。例年お盆のころ、最初のススキの穂を見つけることができます。ススキの穂は小さな花の集まりで、暗い赤紫色をしています。種になると白いふわふわの毛が生え、種は風によって飛んでいきます。かつてえびの高原には硫黄山の噴気が漂っており、これに含まれる亜硫酸ガスの影響で、えびの高原のススキは他所でみられるススキに比べてより赤くなっていました。花の時期だけでなく種の時期にも赤色が目立ち、硫黄山の斜面が赤く染まって見えるほどだったそうです。

えびの高原の名前の由来はススキが一面に広がり、赤いえび色になることから付けられたという説が有力です。

近年、硫黄山の噴気はほとんどなくなり、以前のようにススキが赤く染まることはなくなりました。移ろいゆく自然の姿に心ひかれる季節です。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ススキ
Miscanthus sinensis

イネ科 ススキ属